

飛龍高生 茶摘み体験

飛龍高(沼津市)食文化コースの生徒は11日、JAなんすんの協力を得て同市足高の「渡辺茶園」(渡辺直美園主)で新茶の手摘み作業を体験した。

1年生55人が参加した。同JA職員から摘み取りの基本となる「一芯二葉」を教わり、新芽を丁寧に摘み取った。小嶋迅斗さん(15)は「茶摘みは初めて。コツを覚えると素早く

「一芯二葉」新芽丁寧に

摘めるようになった」と振り返った。

特産品の茶を学ぶ授業の一環で実施した。茶葉の加工方法の違いによる味や香りの特徴を試飲で確かめたり、同市金岡の製茶工場を見学したりもした。

摘み取った茶葉は製茶し、生徒たちに配る予定。

新茶の茶摘みを体験する飛龍高の生徒たち
＝沼津市足高

